別紙１

「相談支援従事者およびサービス管理責任者等専門コース別研修」
標準カリキュラム

○意思決定支援

科目	獲得目標	内容	時間数
１．意思決定支援の必要性（講義および演習）			
意思決定支援の必要性（講義および演習）	意思決定支援について、具体的な事例の検討を通じて、その必要性を理解する。	・好事例の検討 ・課題事例の検討	１．０
２．意思決定支援の概要と意思決定支援ガイドライン（講義）			
意思決定支援とは（講義）	意思決定支援における定義や基本的考え方を理解する。	・支援付き意思決定と代理代行決定の枠組みと基本的姿勢 ・エンパワメント型支援とレスキュー型支援	１．０
意思決定支援ガイドラインの構造（講義）	障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドラインを理解する。	・意思決定支援ガイドラインの概要 ・他の意思決定支援ガイドラインとの関係性	３０分
３．意思決定支援ガイドラインの実践（講義または演習）			
意思決定に向けた支援プロセス①（演習）	意思決定支援を実践する際のプロセスおよびその留意点を理解する。	・意思決定支援会議の実践に向けた働き掛け ・選好や価値観を発見・収集するための本人面談 ・意思決定支援会議の実践	２．０
意思決定に向けた支援プロセス②（講義または演習）	意思決定支援の実践における支援付き意思決定から代理代行決定への移行場面について理解する。	・意思決定能力アセスメント ・意思と選好に基づく最善の解釈（意思推定） ・最善の利益に基づく代理代行決定 ・支援付き意思決定の限界と代理代行決定の限界	３０分
意思決定支援上の情報収集と記録化（演習）	意思決定を支援するための情報収集および記録化の必要性およびその技術を理解する。	・意思決定支援ツールを活用したロールプレイ等	１．０
合計			６時間